

事務事業名		小規模集落排水管路施設管理事業			会計	下水道		事業種別			開始	8	終了		
課等名		下水道課		係等名	維持係										
基本計画上の位置づけ		政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり											
		施策	45	居住基盤の向上											
目的	対象(誰・何を)	小規模集落排水処理区域内(目名振・堤田A=2.5ha)の管路施設										対象指標	指標名及び単位		24年度数値
	意図(どういう状態にするか)	適正な維持管理を行う											管路延長(m)	1197	
	向上させたい上位施策の成果指標	居住基盤の満足度 単位(%)													
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)						
	成果指標	適正に維持管理が達成した延長			1197	1197	1197	1197							
	成果指標	達成率%(適正な維持管理が実施された延長/全体管路延長)			100	100	100	100							
	定性目標														
事業概要	第5次飯田市下水道整備基本計画に基づいて整備された小規模集落排水管路施設を適正に維持管理する事業。														
	<ul style="list-style-type: none"> ・処理区域 目名振・堤田 の2地区 ・計画処理人口 150人 ・計画区域面積 2.5ha ・管路延長 1,197m 														
24年度事業内容	事業内容				名称				活動指標						
	1 下水道管路維持管理				1 維持管理管路延長				1 L=1,197 m						
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足									
事業費計(千円)①		20	214	1	214	[24特定財源]									
国庫支出金						[25特定財源]									
県支出金															
起債															
その他		20													
一般財源			214	1	214										
人件費計(千円)②		36		2,326											
正規職員所要時間		10		500											
臨時職員所要時間				500											
総事業費①+②		56	214	2,327	214										
事業内容・目標達成状況の振り返り	農集排施設整備事業における機能診断業務委託において、堤田地区の管路機能診断も併せて実施し健全であることを確認した。また、維持管理データベースを構築し、紙台帳を電子データ化し管路データの一元化を図った。今後は公共・特環と同様に維持管理履歴や各種調査データを蓄積し効率的な業務を展開する。														
改革改善の考え方	①問題点	平成10年度に小規模集落排水事業の整備が完了し、新設から維持管理へ移行した。今後は施設の老朽化に伴う改築補修費の増大が予想されるが、持続可能な下水道事業の実施を図るため、計画的かつ効率的な事業展開が要求される。													
	②改革提案	サービス水準の保持、ライフサイクルコストの最小化、事業費の平準化を実現し、適正な維持管理を図るため、平成24年度に維持管理データベースを構築し各種データ整理の一元化を図る。													